

# 日本地球電気磁気学会会報 (第81号)

1979年2月20日

日本地球電気磁気学会

連絡先 東京都文京区弥生2-11-16 (〒113)

東京大学理学部地球物理学教室内

電話 03-812-2111 (内線6476)

## I. 第65回総会ならびに講演会の開催について

前号会報に予告しましたように、春の学会は東京大学宇宙航空研究所のお世話により下記の通り開催されます。

1. 期間 昭和54年5月15日(火) - 18日(金)
2. 会場 東京大学宇宙航空研究所 13号館講堂および会議室
3. 講演申込みおよび予稿集原稿送り先

〒113 東京都文京区弥生2-11-16

東京大学理学部地球物理学教室内

日本地球電気磁気学会 宛

締切り 3月31日(土) (必着)

予稿集原稿は、同封の規定用紙に黒インクまたは黒ボールペンで丁寧にお書き下さい。用紙がさらに必要な場合は、下記運営委員のところへとりに行くか、または学会事務所あて直接ご請求下さい。

東北大学理学部地球物理学教室 大 家 寛

京都大学理学部地球物理学教室 荒 木 徹

九州大学理学部物理学教室 北 村 泰 一

4. ポスターセッション申込みについても上記3にしたがって下さい。ただし、申込用紙、予稿原稿とも右肩上に鉛筆でポスターセッションと明記して下さい。ポスターセッション実施要領については会報78号をご覧下さい。

5. 田中館賞候補者推薦および総会議題の申込みは、4月14日までに学会委員長宛に書面  
でご提出下さい。

送り先 〒611 京都府宇治市五ヶ庄

京都大学工学部電離層研究施設 加藤 進

6. 締切り日を厳守して下さい。3月31日以降に到着した申込みは自動的に却下します。電  
話による申込みや遅延依頼は受けません。

## II. 第10期(昭和54年4月~56年3月)役員選挙結果

1月25日に締切予定の次期役員選挙は、郵便事情を考慮して31日に東大理学部地球物理学  
教室(学会事務所)で開票され、下記の新役員がままりました。(開票:小川利紘・佐藤哲也・  
河野 長・小嶋 稔, 立会人:浜野洋三・田中基彦)

### 1. 委員長 投票総数 103

加藤 進 20 次点 平尾 邦雄 19

### 2. 評議員 定員10名 投票総数 103

前田 坦(現委員長) (前田 坦 47)

大林 辰蔵 68 長島 一男 36

福島 直 67 広野 求和 33

上山 弘 58 平尾 邦雄 32

力武 常次 57 田中 春夫 32

永田 武 51

(加藤 進 48) 次点 小口 高 26

### 3. 運営委員 定員14名 投票総数 104

北村 泰一 55 松本 紘 32

河野 長 54 斉藤 尚生 32

行武 毅 50 安川 克己 29

大家 寛 49 恩藤 忠典 29

佐藤 哲也 44 河島 信樹 28

小嶋 稔 37 平沢 威男 27

荒木 徹 34

小川 利紘 33 次点 広岡 公夫 24

### III. 科研費特定研究新分野の設立申請について

新分野「太陽系の進化と惑星環境の研究」の設立申請書ができ上り、主要研究機関に配布されております。これに関するご意見をお持ちの方は世話人宛お知らせ下さい。なお、この研究の概要と各領域の世話人については、会報80号をご参照下さい。

### IV. 各種研究助成金・奨学金について

例年、いくつかの財団から研究助成金・奨学金などの応募要項・推薦依頼が送られて来ます。これらのうちいくつかのものは学会の推薦が必要とされています。地球電磁気学会では通常、会報でこのことを会員に知らせ、会員内から応募があった場合、運営委員会ではかって推薦するかどうかを決めています。但し、会報・運営委員会ともそれほどひんばんでないで、締切りなどの関係で上の手続きが間に合わないことがあります。その場合もできるだけシンポジウムなどの機会を利用して多数の会員に連絡するよう努力しております。例えば今回の朝日学術奨励金の応募要項は会報80号発行直後につきましたが、upper, solid それぞれのシンポジウムなどの際にかかなりの数の会員に連絡がいていると思います。参考のためにほぼ毎年学会にきているものを以下に示しますのでご参照下さい。

- ① 連絡・申請締切り・決定時期
- ② 対象分野
- ③ 金額（毎年同じとは限らないで、一応の目安です）
- ④ 学会推薦の要不要
- ⑤ 53年度の学会からの応募者

#### 1. 朝日学術奨励金

- ① 12月下旬・2月下旬・7月上旬
- ② 科学一般
- ③ 総額800万円 1件100～150万円程度数件
- ④ 必要（但し自薦も可）
- ⑤ 小林和男

#### 2. 三菱財団自然科学研究助成

- ① 1月下旬・5月中旬・9月下旬
- ②, ③ 別項参照
- ④ 不要

⑤ 木下 肇・満保正喜・飯島 健

3. 日本証券奨学財団研究調査助成

① 2月下旬・4月下旬・7月上旬(本年はまだ連絡なし)

② 法学・経済学・社会学・理学・工学(理学及び工学については、エネルギー問題及び環境問題に関するものを重視する)

③ 総額3,000万円, 1件当り400万円以内のもの数件, 100万円以内のもの十数件。

④ 不要(大学学長の推薦)

⑤ 満保正喜

4. トヨタ財団研究助成

① 4月下旬・5月下旬・10月中旬

② 交通安全, 生活・自然環境領域, 社会福祉領域, 教育・文化領域

③ 総額2億7,000万円 約60件

④ 不要

⑤ なし

5. 東レ科学技術研究助成

① 7月中旬・11月中旬・2月下旬

② 「科学技術の進歩発展に貢献するところが大きいと考えられる基礎的研究」

③ 総額1億円前後, 1件当り1,000万円程度。

④ 必要

⑤ 河野 長

なお, 松永記念財団は昨年度で解散しました。また以上のほかに比較的大規模な研究助成としては山田財団によるものがありますが, 昨年度は当学会は対象とされていませんでした。

V. 三菱財団自然科学研究助成

1. 対象分野 自然科学の基礎分野

本年度は下記の10分野を重点的に助成の対象とするが, 他の研究も除外しない。

- (1) 非線型現象の基礎的研究
- (2) 固体表面など特殊条件下での新しい物質現象の研究
- (3) バイオ・サイバネティクスの基礎的研究
- (4) 化学および物性分野における新しい着想, 新測定方法による研究
- (5) 破壊の機構に関する研究

- (6) 新材料の開発または既存の物質の新しい物性の基礎研究
- (7) 発生および分化に関する基礎的研究
- (8) 生物現象に直接関係する新しい有機化合物の研究
- (9) 遺伝と環境の相互作用による疾患に関する基礎的研究
- (10) 臓器の機能的構築に関する基礎的研究

2. 助成金額

1件 2,000万円以内、総額約2億円(例年の約2倍)

3. 応募締切日

昭和54年5月19日

応募されたい方は学会事務所まで御連絡下さい。なお、申込用紙は財団へ直接請求すれば送ってられます(電話03-214-5754)。

VI. 異 動

本会名誉会員萩原雄祐先生は昭和54年1月29日逝去されました。つつしんで哀悼の意を表します。

前回会報以後の新入会員は以下の通りです。

渋谷秀敏(阪大基礎工・学生) 渡辺紀彦(大阪市大工) 柳沢正久(東大理・学生)

先日お送りした名簿に以下の誤りがありました。ご迷惑をおかけしたことをお詫びして訂正いたします。

	正	誤
13ページ 3行目	長 島 一 男	中 島 一 男
9ページ17行目 (佐藤夏雄)	東大M73	山形大M73

VII. IAGA事務局からのお知らせ

本年11-12月にオーストラリアで開催されるIMSシンポジウム(於メルボルン)と第17回IUGG IAGA総会の内容と参加諸注意が昨年末に発行されたIAGA News No.17に掲載されています。この冊子はこれまでIAGA Newsを受取っておられた方々には年末年始にかけて発送しましたが、新たに入手ご希望の方々は英文宛先併記の上、東大理地球物理研究施設 福島直あてお申出下さい。なお、昨年末に発送した分には53頁に論文アブストラクト提出締切日が誤っ

て 1 September 1979 と書かれている個所がありますが、52頁に示してある通り 1 August 1979 と訂正すべきことご留意下さい。

### VIII. 学生会員継続届

現在学生会員であって、昭和54年度も学生会員の継続を望まれる方は、3月末日までに学会事務所あてに下の継続届を提出して下さい。提出されない場合は自動的に正会員会費が請求されることとなります。

----- キ リ ト リ 線 -----

#### 学生会員継続届

氏名 \_\_\_\_\_ 同ローマ字 \_\_\_\_\_

所属大学・学部・学科 \_\_\_\_\_

学年 \_\_\_\_\_ 学部・大学院修士・大学院博士 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_  
(昭和54年4月からの学年次)

研究テーマ \_\_\_\_\_

指導教官署名 \_\_\_\_\_

日付 \_\_\_\_\_